

2023年3月17日
凸版印刷株式会社

凸版印刷、チェコに透明バリアフィルム生産拠点を新設
環境先進国である欧州諸国への供給能力を向上させ、SXビジネスの海外展開を強化

凸版印刷株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:磨秀晴、以下 凸版印刷)は、透明バリアフィルム「GL BARRIER(※1)」の生産工場をチェコ共和国へ新たに開設。2024年末の稼働開始を予定しています。本工場の稼働により、欧州市場からの環境配慮型パッケージの需要に対応し、透明バリアフィルム「GL BARRIER」の生産力を強化します。



チェコ工場外観(イメージ)



GL BARRIER 製品例

■ 背景

世界のパッケージ市場では、循環型社会の実現に向け、有限な資源を効率的に利用/再生産し、持続可能な形で循環させることが可能な環境配慮型パッケージが求められており、特に環境先進国である欧州諸国では、環境適性/リサイクル性能に優れたパッケージの需要が急速に高まっています。

このような市場動向において凸版印刷は、パッケージの脱アルミ化やリサイクル適性に優れたモノマテリアルパッケージ供給などに貢献する、優れた環境適性を持つ「GL BARRIER」を、これまで以上にグローバルへ拡大させるべく、欧州への工場開設を決定しました。

今回の新工場開設により、日米欧 3 拠点生産体制が確立され、これまで以上にグローバルに SX (Sustainable Transformation) ビジネスを加速させていきます。

■ 新工場開設の狙いと特徴

・ESG 経営/SDGs 経営を牽引する欧州市場への供給能力強化

欧州では、欧州委員会 (EC) がプラスチック廃棄物の削減に向けた戦略を提案し、パッケージの再利用や再資源化、過剰包装の禁止を義務付ける規則等が検討されており、成立するとパッケージ事業者に対して、原則として全てのパッケージを 2030 年 1 月までに再資源化可能な設計にすることが求められることとなります。このような市場動向において、リサイクルに適したモノマテリアルパッケージをはじめとする環境配慮型パッケージ供給に向け、優れた環境適性を持つ「GL BARRIER」の生産工場を、欧州に初めて開設。欧州のパッケージ事業者向けに「GL BARRIER」の供給能力を拡大させます。

・日米欧 3 拠点生産体制の確立

日本はもちろん、既に稼働している「TOPPAN USA ジョージア工場」と併せ、日米欧 3 拠点生産体制を確立。これによって、地政学的、自然災害にかかるリスクを分散し事業継続性を向上させるとともに、地産地消型のサプライチェーンを構築します。

・環境配慮型の工場

本工場は環境負荷軽減に向けて、エネルギー使用量を低減する高効率生産設備の導入や、再生可能エネルギー活用などを実施する環境配慮型の工場です。

■ 今後の展開

凸版印刷は、社会的価値創造企業の実現に向けて、透明バリアフィルム「GL BARRIER」のグローバル展開を加速し、2025 年度までに海外パッケージ関連事業で売上高 1500 億円を目指します。

■ 新会社・新工場の概要(予定)

商号	Toppan Packaging Czech s.r.o. (工場開設に合わせ現地法人を設立済み)
所在地	チェコ共和国
敷地面積	約 50,000m ²
稼働開始時期	2024 年末
製造品目	透明バリアフィルム

※ GL BARRIER

「GL BARRIER」は凸版印刷が開発した世界最高水準のバリア性能を持つ透明バリアフィルム「GL FILM」を軸とした総合バリア製品ブランドです。「GL FILM」は独自のコーティング層と高品質な蒸着層を組み合わせた多層構造で、安定したバリア性能を発揮します。また多くの優れた特性が高い評価を受け、食品から医療・医薬、産業資材に至る幅広い分野で採用されています。

URL: https://www.toppan.co.jp/living-industry/packaging/products/barrier_film/

* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上